

# Meet the Musicians

楽団員紹介

東響を彩る珠玉のソロ・チェロ

## 伊藤 文嗣

Fumitsugu Ito

[ソロ首席チェロ奏者]2012年9月入団

趣味: eスポーツ(格闘ゲーム「STREET FIGHTER V」)の観戦



©N.Ikegami

### 理系か、文系か、それとも音楽か

正直、楽器をはじめた頃のことはよく覚えていません。3人兄弟の末っ子で、上2人がヴァイオリン、ピアノをやっていたので、私はチェロを始めました。音感を鍛えるために同時にピアノも習い始めましたが、途中からはポップスや好きなゲーム音楽などを中心に我流で続けていました。音楽の道を志したのは高校2年生の冬。中高一貫で大学受験に力を入れている学校だったのですが、進路希望調査表で「理系・文系」の欄を前に書く手が止まり、「やはり自分のやりたいことは音楽なのでは……」と。音大受験を決意したのがこの瞬間でした。それまでは、ジュニアオーケストラや室内楽を中心としていたので、ソロのレパートリーも少なかったですし、楽典やソルフェージュは幼少期にピアノ教室で聴音を少しやっていた程度なので1年の準備期間は本当に大変でしたね(笑)。

### 東響の第一印象は「あたたかいオーケ」

私がまだ音楽大学在学中に、大学の先輩である謝名元さん(チェロ)が主催している「東響フットサル部」に声をかけていただき参加したのです。廣岡さん(アシスタントコンサートマスター)や小西さん(ヴィオラ)を中心に東響の皆さんが沢山いらして、そのフットサルがとても楽しくて。「すごく和気あいあいとしていて、あたたかいオーケストラだな」と思ったことを覚えています。この楽団の雰囲気は音楽にも通ずるものがあるように感じます。ということで、僕の東響と

の最初の接点は、音楽ではなく“フットサル”なのです(笑)。

### 9月から“ソロ首席”に

光栄なことに、9月からソロ首席奏者となりました。チェロは意外とソロを弾くことが多く、有名な曲はもちろん“1小節だけ、合いの手のソロ”なども含め、入団してからそのソロの多さに驚きました。“ソロ”が付いたということは、これまで通り音を磨いていかなければならないのはもちろん、自分の表現をもっと確立しなければと考えています。これまでとスタンスを変えることはないですが、より一層頑張っていきたい。身が引き締まる想いです。



チェロを始めた頃。

インタビュー:事務局